

— 確かなものを地球と未来に —

 一般社団法人 **日本建設業連合会**
JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法							
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等		再資源化			
PP	軟質	熱可塑性	■ 新築	■ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	□ 無			↑ 少 ↓ 多	排熱利用	燃料化	高度熱回収	ケミカル	マテリアル
PEs			■ 設備	□ 袋 状	□ 端材・余剰材	■ 少								
			■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮 設 材									
			■ 土木	□ 板 状	■ 使用済廃材 (養生材・容器等)									
			■ 解体	□ 管(筒)状										
PVC			■ その他	□ 成型品	□ 多									

望まないしく 資源循環 望ましい

★:該当
☆:条件付きで該当

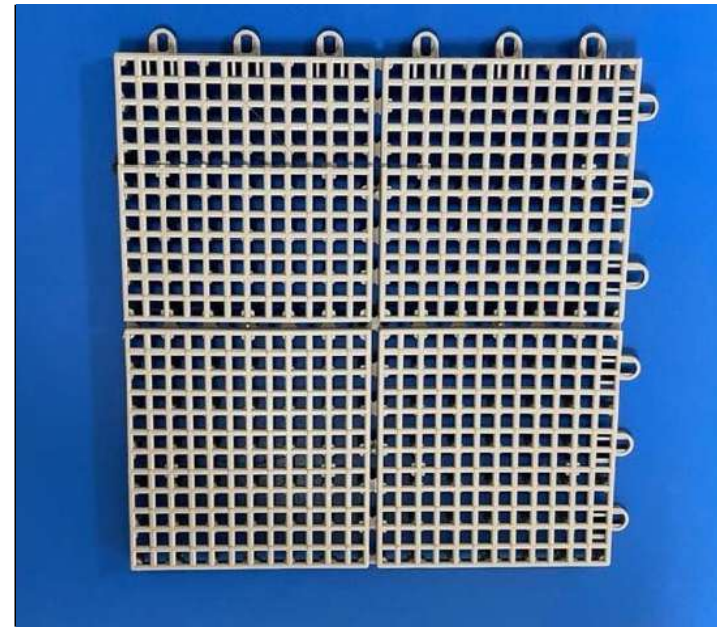
排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【マテリアルリサイクル】 ▶中間処理施設での網状物の破碎を条件にマテリアルリサイクルが可能。 【再資源化等】 ▶中間処理施設での破碎を条件に、高度熱回収(RPF・フラフ)、燃料化、排熱利用の原料として利用可能。 【単純焼却】 ▶中間処理施設での破碎を条件に受入可能。裁断などの前処理を行う施設もあるが割増し料金が発生する。

建設系廃プラデータカード

L3	PEs-02	名称	水回りマット
▶水まわりの床に敷くマットで、PEs(ポリエステル)やマイクロファイバー製のものが多い。 ▶マイクロファイバーは、通常の繊維の1/100以下の極細の繊維で、PEsやPA(ナイロン)などの合成繊維から作られている。			

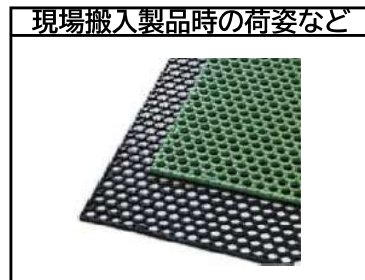
廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法					
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分 単純焼却 排熱利用 燃料化 高度熱回収 ケミカル マテリアル	再資源化等	再資源化			
PEs	軟質	熱可塑性	☐ 新築	☐ 紐状・網状	☐ 梱包材・緩衝材	☐ 無						
			☒ 設備	☐ 袋状	☐ 端材・余剰材							
			☒ 改修	☒ シート・フィルム状	☐ 仮設材	☒ 少						
PE			☐ 土木	☐ 板状	☒ 使用済廃材 (養生材・容器等)	☐ 多						
☒ 合成ゴム			☒ 解体	☐ 管(筒)状								
			☐ その他	☐ 成型品			★	★	★	★	★	★

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	断熱工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましく
資源循環
望ましい

★:該当
☆:条件付きで該当



現場搬入製品時の荷姿など	排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など

建設系廃プラデータカード

L3	PEs-03	名称	化学布団・毛布
▶主に軽くて保温性の高い性質のPEsという合成繊維を素材に作られた布団。中にはPU(ポリウレタン)製もある。 ▶機器や什器搬入時の緩衝材・養生材として使用されたりする。 ▶ウール、カシミア、シルク、綿、麻などの天然繊維を使った布団は含まない。(一般廃棄物に分類)			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法						
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等 排熱利用	再資源化 燃料化	高度熱回収	ケミカル	マテリアル
PEs	軟質	熱可塑性	☐ 新築	☐ 紐状・網状	☒ 梱包材・緩衝材	☒ 無							
			☒ 設備	☐ 袋状	☐ 端材・余剰材	↑ 少 ↓ 多							
			☒ 改修	☐ シート・フィルム状	☐ 仮設材								
			☐ 土木	☐ 板状	☒ 使用済廃材 (養生材・容器等)								
			☒ 解体	☐ 管(筒)状									
☐ その他	☒ 成型品												
							★	☆	☆	☆	☆	☆	

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	断熱工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土木工事



望ましく
資源循環
望ましい

★: 該当
☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【ケミカルリサイクル】 ▶中間処理施設での破碎を条件に、コークス炉化学原料・ガス化(水素・アンモニア製品)原料として利用可能。 【再資源化等】 ▶中間処理施設での破碎を条件に、高度熱回収(RPF・フラフ)、燃料化、排熱利用の原料として利用可能。 【単純焼却】 ▶中間処理施設での破碎を条件に受入可能。裁断などの前処理を行う施設もあるが割増し料金が発生する。

建設系廃プラデータカード

L3	PEs-04	名称	サニーホース(非塩ビ) (樹脂製送排水ホース)
▶PEs(ポリエステル)繊維と軟質塩化ビニルを原材料に製造された長尺の多目的ホース。 ▶サニーカンパニー社が製造販売を始めたことから、同様の製品も通称としてサニーホースと呼ばれている。正式名称は「樹脂製送排水ホース」。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法						
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等		再資源化		
									燃料化	高度熱回収	ケミカル	マテリアル	
PEs	軟質	熱可塑性	☒ 新築	☐ 紐状・網状	☐ 梱包材・緩衝材	☐ 無	★	☆	☆	☆	☆	☆	
PVC			☐ 設備	☐ 袋状	☐ 端材・余剰材	☐ 少							
			☐ 改修	☐ シート・フィルム状	☐ 仮設材	☐ 多							
			☒ 土木	☐ 板状	使用済廃材 (養生材・容器等)								
			☐ 解体	☒ 管(筒)状									
☐ その他	☐ 成型品												

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましい
 資源循環
 望ましい

★: 該当
 ☆: 条件付きで該当



排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など

- 【ケミカルリサイクル】
 ▶汚れの付着が少なく少量であれば、コークス炉化学原料・ガス化原料などとして利用可。
- 【再資源化等】
 ▶塩ビ樹脂でないこと・汚れの付着が少ないこと、中間処理施設での破碎を条件に、高度熱回収(RPF)、燃料化、排熱利用の原料として利用可能。
- 【単純焼却】
 ▶塩ビ樹脂でないこと・中間処理施設での破碎を条件に、受入可能。